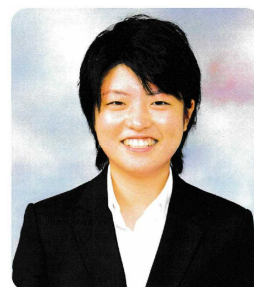


佐高・国際人ファイル

1期生、海外大学進学へ

国際ソロブチミスト佐野「ドリーム賞」審査員特別賞受賞

はるか
加藤 遥さん

9月13日(日)、本校の1期生、加藤遥さんが、イギリスの「**Writtle College** **リトルカレッジ**」(馬学専攻、3年間)に入学するため、日本を出発します。リトルカレッジは、ロンドン郊外のエセックス州にあり、農業や園芸などの環境産業で有名な国立大学で、馬に関して専門的に学ぶ「馬学」コースのある世界的にも珍しい大学です。(卒業時には、エセックス大学の学位がもらえます。)

加藤さんは、附属中2年生から始めた乗馬がきっかけで、高校2年の頃、馬について専門的に学びたいと思うようになり、「馬学」のあるイギリスの大学進学を決意しました。しかし、海外の大学に進学するには、英語力を証明する **IELTS** (アイエルツ) で一定のスコア (1.0から9.0のスコアで示され、英語圏の大学は、一般的に6.0から6.5を入学基準としている。) が必要になります。高校在学中は英語力が入学基準に達していなかったため、1年間、「日本外国語専門学校」(海外留学科イギリス留学コース) に入学するという選択をしました。(なお、海外の大学に進学するには、いろいろな方法がありますので、希望する生徒は英語科の先生に相談してください。)

高校在学中、加藤さんは生物部(現在の科学部)に所属し、「**クマムシ**」の研究で有名でした(第56回日本学生科学賞栃木県展覧会最優秀賞)。クマムシ研究の第一人者である東京大学理学部の國枝先生に師事するとともに、筑波大学のSSリーグ(Super Science League)にも所属していました。長期休業中や土日には、東京大学や筑波大学に通ってクマムシの研究を行い、高2の3月に行われたSSリーグの成果発表会(第2回つくば科学研究コンテストポスター発表の部)では、最高賞である「**金賞**」を受賞しました。

クマムシの研究者として将来を嘱望されていた加藤さんが、なぜ「**馬学**」を選択したのでしょうか。もちろん、進路選択では悩んでいましたが、馬が好きという気持ちと、それを職業にしたいという夢が、自分でも押さえきれないほどに大きく成長していったのかもしれない。その思いを国際ソロブチミスト佐野が主催する「**第1回ドリーム賞**」で伝え、審査員の心を動かしました。今の加藤さんには迷いはありません。9月からの大学生活で得たものを、いつの日か、佐高生や附属中生の前で語ってみたいと思っています。イギリスの大学での活躍を期待しています。(佐高からの「はなむけ」の言葉でした。)



夏休み中、校長に留学を報告する加藤さん



乗馬クラブでの加藤さん